

ジャンプ技を披露する阿部さん(いずれも松江市)

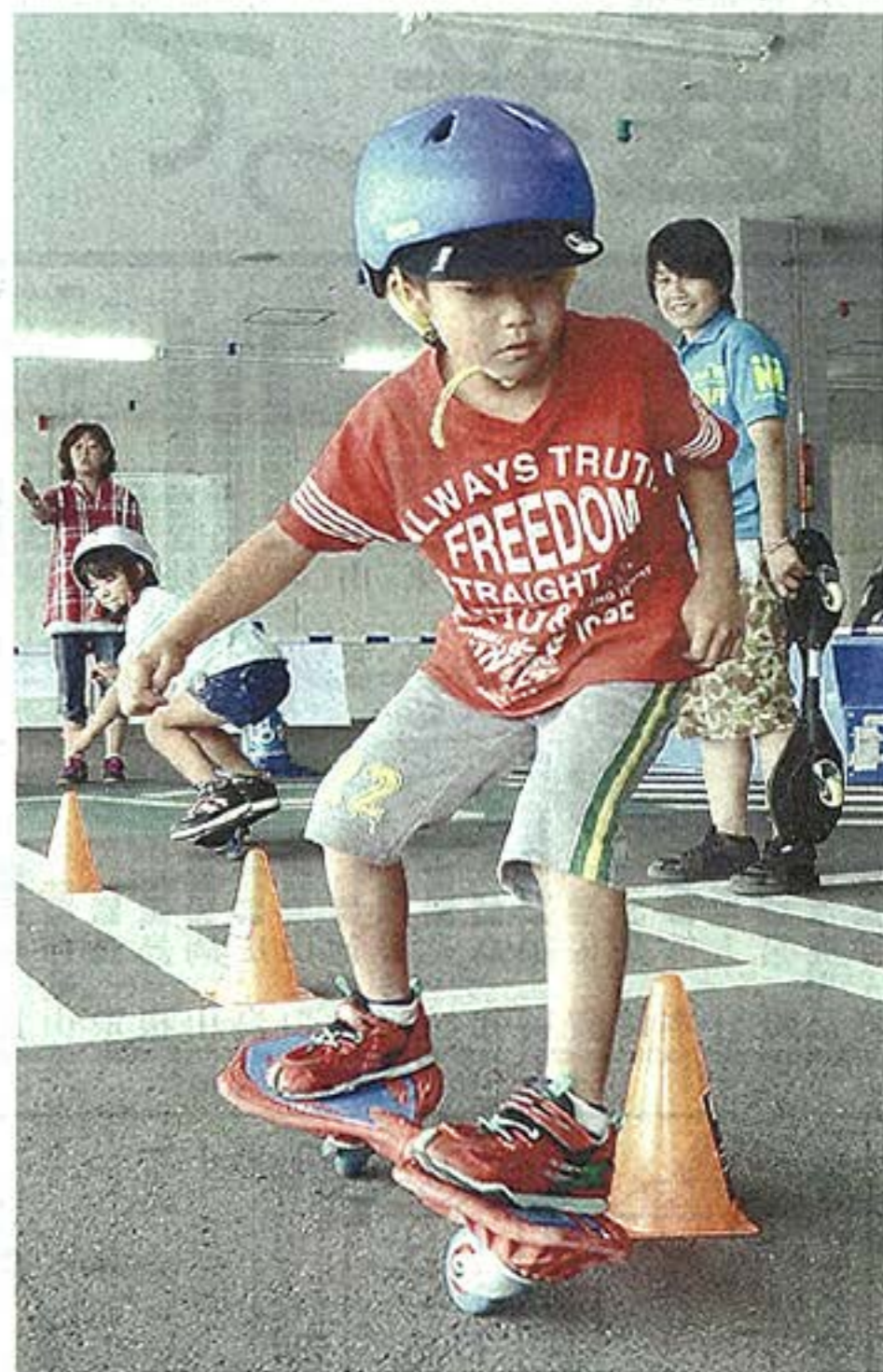


パイプで連結 2枚の板で路面滑走

パイプでつながった車輪付きの2枚のボードに立って路面を滑る、米国発の遊具「ブレイブボード(BB)」。バランス感覚が試される全身運動で、上達すればジャンプ技も決められる。子どもと大人と一緒に楽しめる遊びとして、じわりと人気が広がっている。

(教連孝匡)

ブレイブボードで



体験会で阿部さん(右端)から乗り方を教わる子どもたち

じわり人気が試されるバランス感覚

注意したいのは遊ぶ場所だ。BBで滑走するには、舗装された平らな路面でなければならぬ。公園やスポーツ施設の多目的スペースなどが中心となるが、使用を禁じている場所もある。必ず事前に管理者に確認しよう。

ビタミンアイファクトリーによると、BBは2007年に米国で発売された。車輪4個付きの一枚板に乗って地面を蹴りながら進むスケートボードとは異なる「新感覚のボード遊び」として大ヒット。日本では同社が08年冬に販売を始め、全国のスポーツ施設や小中学校などで講習会を開いている。脚だけでなく腹回りの筋肉も使うため、シェイプアップ効果を期待して遊ぶ大人も多いという。

多祐貴君(6)は「いろんな技を覚えるのが楽しい」。さっそく、BBに飛び乗って滑りだす技を教わっていた。

阿部さんは、地面に片手を突いて方向転換する技やジャンプも披露。「基礎を覚えれば、体力や目的に合わせていろんな遊び方ができる。自分のアイデアで技も生み出せます」と魅力を語る。

くねくね・ジャンプ

BBは全長約70〜85センチ。片脚ずつボードに乗せ、脚を前後に動かしたり体全体をひねったりして前に進む。スノーボードのように、左右にくねくねと波打ちながら滑走する動きが特徴だ。

6月半ば、松江市の大型スポーツ店「スポーツツゼビオ松江東津田店」が開いた体験会は親子連れでにぎわった。

講師はBBの輸入元「ビタミンアイファクトリー」(東京)が派遣したインストラクター阿部なるみさん(19)＝宇部市。参加者はまず、阿部さんに支えてもらってボードの上に立ち、板を爪先側に倒して降りる動きを覚える。「かかと側に倒すとバランスを崩しやすく、転んだときに後頭部を打つ恐れがあります」

おっかなびっくり乗り降りしていた初挑戦の子どもも、30分後には一人で数回進めるようになった。今春始めたという出雲市の小学1年本